

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 30日

尼崎市長 殿

提出者

住所 尼崎市鶴町1番地

氏名 日鉄ステンレス鋼管(株) 尼崎工場
工場長 稲葉 公典

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6416-1031

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日鉄ステンレス鋼管株式会社 尼崎工場
事業場の所在地	尼崎市鶴町1番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2234 鋼管製造業
②事業の規模	製造品出荷額 12,234百万円（令和3年度実績）
③従業員数	147人（令和4年3月末時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・無機性汚泥の発生抑制のため、無機性汚泥の元である廃酸抑制に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・無機性汚泥の発生抑制のため、無機性汚泥の元である廃酸抑制を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・工場内の保管場所を廃プラスチック（RPF原料）、混合物、ガラス、砥石屑、木屑に分けて保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・リサイクルに適した廃棄物の分別を検討する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃プラスチックの R P F 原料化を推進した。 ・ 無機性汚泥は、路盤材の原料化を推進した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ リサイクル比率拡大を図る。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・ 脱水機の適正な維持・管理を推進する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃蛍光灯の再生業者やR P F原料化を行う業者に処理委託を行ってきた。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への処理委託を推進する。 ・廃棄物の再生利用を行う業者に処理委託を行い、リサイクルを推進する。		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の発生工程

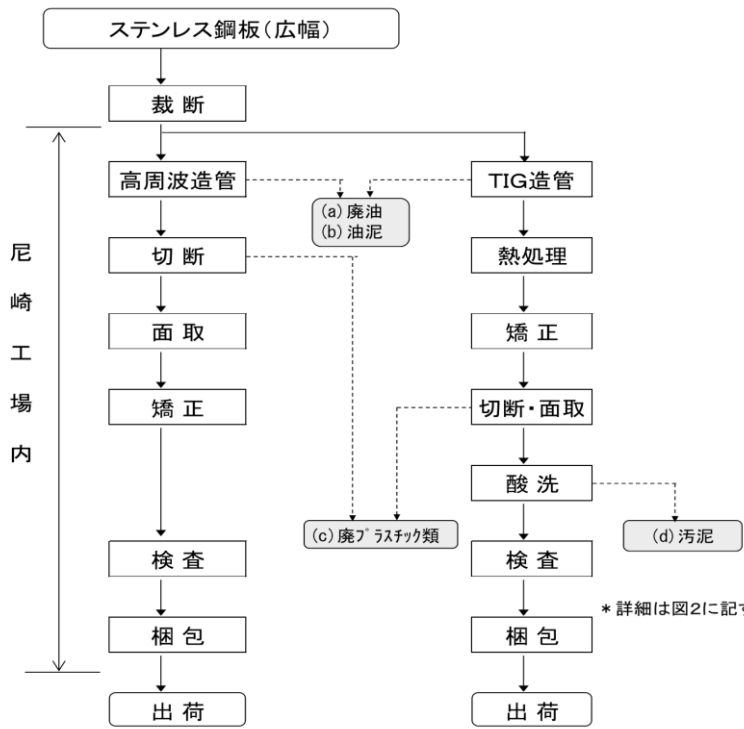


図1 ステンレス鋼管製造フロー

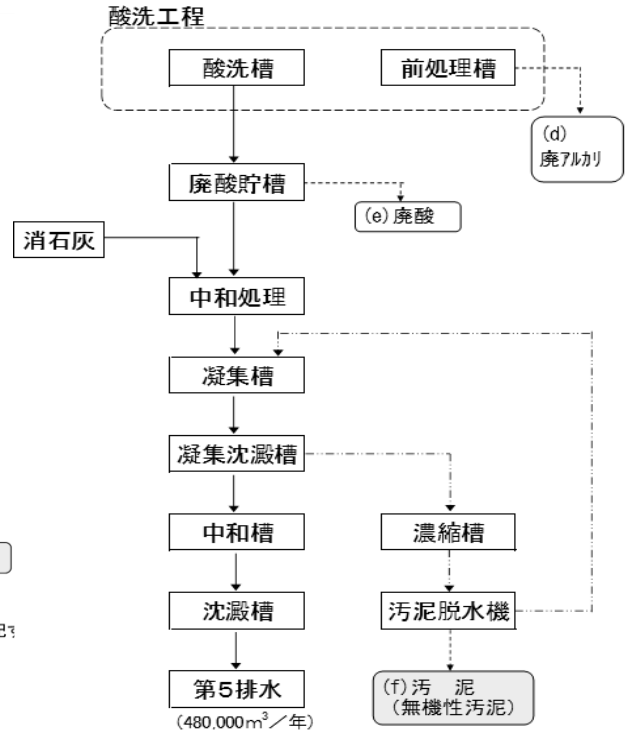


図2 廃液処理フローシート

●各産業廃棄物の処理の流れ

(a) 廃油

収集運搬<委託:ダイセキ> → 油水分離<委託:ダイセキ>
→ 油水分離された廃油は燃料化<委託:住友大阪セメント>

(b) 油泥

収集運搬<委託:ダイセキ> → 活性汚泥処理<委託:ダイセキ>
→ 残渣は管理型処分場に埋立処分<委託:大阪湾広域臨海環境整備センター>

(c) 廃プラスチック

収集運搬<委託:摂津清運> → 破碎・選別<委託:摂津清運>
→ 選別後、RPF原料化 または 管理型処分場に埋立処分<委託:大栄環境>

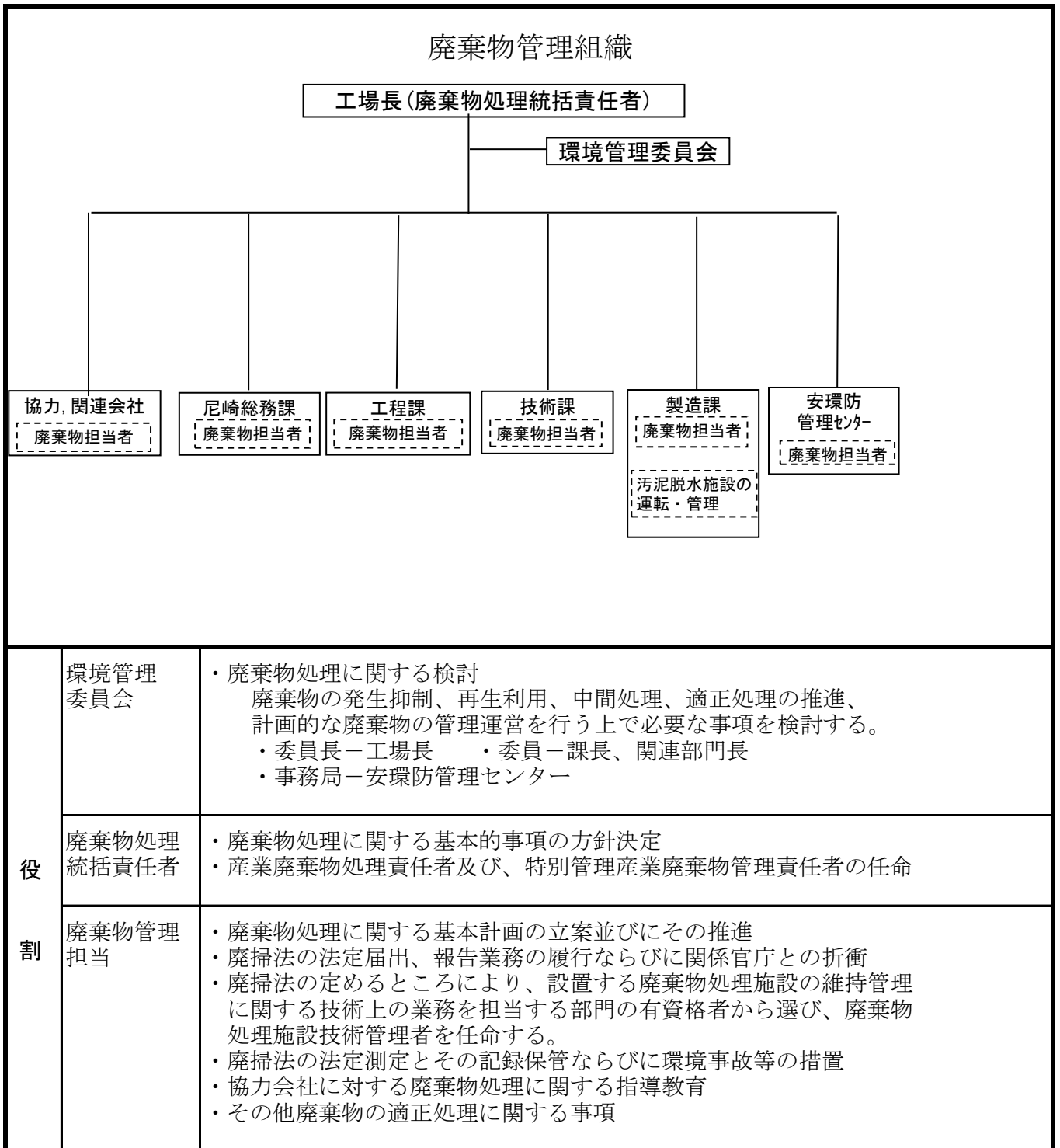
(d) 汚泥

①収集運搬<委託:宮坂産業> → 海洋埋立<委託:大阪湾広域臨海環境整備センター>

②収集運搬<委託:宮坂産業> → 路盤材などに再利用<委託:疋田建設>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

○管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 前年度（令和 3年度）実績				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
排出量	183t	2t	44t	3777t
②計画 目標				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
排出量	130 t	3 t	40 t	3800 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状 前年度（令和 3年度）実績				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
自ら再生利用を行なった量	0t	0t	0t	0t
②計画 目標				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
自ら再生利用を行なった量	0t	0t	0t	0t

自ら行なう産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状 前年度（令和 3年度）実績				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
自ら熱回収を行なった量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t	0 t	3196 t
②計画 目標				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
自ら熱回収を行なった量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t	0 t	3200 t

自ら行なう産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状 前年度（令和 3年度）実績				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画 目標				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 前年度（令和 3年度）実績				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
全処理委託量	183 t	2 t	44 t	581 t
優良認定処理事業者への処理委託量	183 t	2 t	44 t	581 t
再生利用業者への処理委託量	179 t	2 t	6 t	336 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画 目標				
産業廃棄物の種類	0300 廃油	3400 油泥	0600 廃プラスチック類	0200 汚泥
全処理委託量	130 t	3 t	40 t	585 t
優良認定処理事業者への処理委託量	130 t	3 t	40 t	585 t
再生利用業者への処理委託量	124 t	3 t	5 t	338 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t